

	意見・質問などコメント	事務局より
堺区	夏休みおすすめのブックリストを作成し、HPを通じて子ども達に発信した試みはいいと思う。「クリスマス絵本ブックフェア」と同様に、今後日本の年中行事に即した絵本ブックフェアを企画されたらどうでしょうか？例えば、ひなまつりや七夕など	いただいた意見は今後の参考にさせていただきます。
	新型コロナウイルス感染拡大の中で職員のみなさまに感謝いたします。中央図書館の建て替えを要望します。	ありがとうございます。中央図書館建替については、今後市長部局と連携した中で具体的な計画を定め、実現を図っていきたく考えております。
	1.中央図書館所在地へのアクセスを不便と感じている市民にとって堺東駅前のサテライト施設は有効に活用いただくと評価します。ただ、新たな要望にサテライト施設としてどこまで対応できるのかはすでにお考えかと存じますが、どういったことが新たに可能なのでしょうか。 2.学校支援について考慮いただき、ありがとうございます。学校図書館自体も感染防止対策を講じながらの開室にあたり苦慮しており、公立図書館として工夫されている点の情報の共有ができるとおありがたく存じます。	1については、協議会当日のその他案件でご説明いたします。
	堺東駅前にサテライト図書サービスコーナーの整備 今後も要所要所に増えれば良いと思います。	いただいた意見は今後の参考にさせていただきます。
	堺区の図書館の目標、「2 郷土資料展および記念講演会の実施」について、参加者目標が60人あるが、当日参加目標として考えてよいのか。それとも、動画配信期間内に参加した人数なのか。	会場定員に基づいて当日の参加者数を目標値として設定したのですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で会場定員の見直しをおこないました。目標値としていた参加者数を下回る定員になりましたが、それを補うため、動画配信を実施しました。
	1. サテライト図書サービスコーナーは利便性が期待される。午前8時から午後9時という開館時間も利用度を高める。そのうえで、職員配置のこと、予約貸出だけなのか、一定の図書閲覧が可能なのか。来館者の待ちスペース、憩いのスペースはあるのか、などの点如何でしょうか。市中心部に本屋が一軒もない(!)なかで貴重。 2. インターネットによる動画配信の拡充は大変よいサービスと思いますが、図書館見学も展示・講演会もやはり現場で見聞きしてこそ意味あるものだと思いますので、そのところ本末転倒にならないようにと願います。また職員の労力が配信のために費やされ過ぎないように、はやく単純作業化されるよう願います。 3. 各館とも幼少者及びその保護者向けの取り組み催しは豊富で、その点に異論ありませんが、来館利用者の中心層のひとつは高齢者層だと思いますが、美原をのぞいて他館はいろいろも言及がなく、とくに感染症流行の中どういう配慮をしておられるのか、気になることです。 4. ボランティアステップアップ講座をされたということですが、ボランティアの方々はどの程度居られて、具体的にはどのようなお仕事をされているのでしょうか。本の配架・清掃消毒、修復、本の朗読読み聞かせなどのしごとでしょうか。また図書館の運営面にもある程度関わっておられるのでしょうか。	1. 協議会当日のその他案件でご説明いたします。 2. 図書館見学について、「取組結果」の文言を修正しました。 3. 全館共通して、窓口への飛沫防止カーテンやパーティションの設置、手指消毒液の設置、館内放送、利用者にマスク着用・1時間以内での滞在をお願いするポスターの掲示、間隔をあげた閲覧席の設置等の対応を行っています。 4. 図書館サポーターについて、活動内容を追加しました。
1. 色々なイベント、おはなし会がない中、工夫されたのは、いいと思う。今年の3月にも子ども室で本の福袋を渡すというようなチラシを見たが、子どもたち(親子)の反応はどうだったのでしょうか？。コロナで、図書館の利用がままならないときは、有効に思えるが、開館することが出来たときは、その催しの意味はどうだろうか。 2. 図書館利用数の表だが、私は北区に住んでいるが、中央図書館が近いので、ほとんど利用している。そういう人も多いと思うが、区民千人当たり、の指標は役に立つだろうか。 3. 非来館型サービス…インターネット配信などの工夫は、この機会だからこそできたものだと思う。この機会にブックフェアを増やすなどの働きかけはよかったと思う。 4. 堺図書館のサポーター倶楽部創立20周年記念は、知らなかった。活動パネル気づかず、あったら、それぞれの図書館での活動をみてみたい。	1. 「ほんのくじびき」について、実施した結果を「取組結果」に追加しました。 2. 区民千人当たりの指標については、平成29年度図書館サービス評価から各区図書館でのサービスを検証するために算出しているものです。いただいた意見は、今後の課題とします。 4. 活動パネル等を、図書館ホームページの「ボランティア・読書会」のページに掲載する予定です。	
中央図書館としての目標2の非来館型サービスの拡充について、障害利用者へのサービスを常に心がけてほしい。図書郵送サービスモデル事業(有料)を開始したとあるが、障害者・高齢者・病気の方等来館困難利用者に対して無料で実施すべきだと思う。講演会の動画配信は大いに進めてほしい。PRが足りない。	このことについては、協議会当日のその他案件でご説明いたします。	

	意見・質問などコメント	事務局より
中区	職員研修としての避難訓練は絶対不可欠だと思います。地震発生の際、本棚から本が落下し、その下に利用者がいた場合の対応シミュレーションはどのようにされていますか？「えほんおたのしみパック」の貸出の利用者の募集の方法と、両日でどれ位の利用者があったか教えてください。	・今年度は災害時の避難・誘導中心の訓練でしたが、来年度の訓練では具体的な場面のシミュレーションを取入れていきます。 ・「えほんおたのしみパック」のPRは、館内ポスター・ちらし・図書館ツイッターで行い、2日間実施で各日年代別（赤ちゃん・幼児・小学生低学年）に10パック（1パックに3冊絵本入）ずつ用意貸出を行います。
	1.館内での閲覧について感染対策を講じられ、机、いすの配置をよく工夫されていると評価します。利用しやすいです。 2.日常的にブックフェアを開催されており、実際に資料を手にしやすい展示のしかた、POP類などの工夫がよくなされていると評価します。興味がわき、次回は何かと楽しみです。	1. 評価いただきありがとうございます。今後も状況を見ながら工夫をしていきます。 2. 今後も利用者に興味を持っていただき利用につながるような資料の収集・展示を目指します。
	・人口あたりの貸出やレファレンス件数がやや低いところがある。この点について、貸出やレファレンス件数などの関連項目を、目標のどこかに設定（或いは関連付け）が必要でないか。または、目標の1,2,3で向上が期待できるのかを聞きたい。継続性がある図書館に来てもらうような企画が必要と感じる。	今年度は、新しい生活様式に対応したサービス提供を行うことを重点目標とし、具体的に1と2を設定しました。また、3については連携することで相互の事業PRが進むと考えており、これからも継続していきます。 貸出・レファレンス件数の目標については、今後の課題とします。
	・中区に限らず、感染症下、返却図書は一定の消毒時間のための置き場を必要とし、いずれもその場所や仮置き方法に苦心されています。また閲覧席の間隔を開けたため座席が減少したり、自習スペースがなくなったりしています。図書館には一見無駄と思えるほどの広いスペースが今後必要だということ実感しました。	引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大に配慮しながら図書館運営を行っていきます。
	目標は、危機管理意識の共有しつつ、子ども向けの定例行事の実施方法を検討してゆき、今までしていた関係部局と連携して取組をしていくのは、とてもいいことだと思う。 取組結果で、区役所企画総務課の「子ども読書環境の充実事業」、包括支援センターとの「認知症、介護予防関連の展示」「平和と人権」の展示とパネル展示は関連資料がある図書館とのコラボができる、ということで、これからもこういったことを進めていってほしい。	区役所企画総務課の「子ども読書環境の充実事業」の入賞作品のPOP展示は、POPの前で立ち止まる人も多く、入賞者の家族の来場もあり相互にPRできたと感じています。 今後も地域の他機関と連携を継続していきます。
	場所を変えて、おはなし会を実施したことはよかった。コロナだからできないではなく、どうしたらできるかをつきゆうすることは大事。目標2の「児童サービス停滞を回復します」に本気で取り組もうと思ったら、館内の取組だけでは無理。出かけていくサービスをめざすべき。	新型コロナウイルスの感染状況をみながら、外部へのPRを進めていきます。

	意見・質問などコメント	事務局より
	<p>「赤ちゃん絵本5冊セット」の袋がとても可愛いです。資料では白黒の写真なので大きさや色など実物が見たいものです。手作りですか？利用者側としては大事なアイテムだと思います。</p>	<p>事務局より 評価をありがとうございます。「取組」に追記しました。</p>
	<p>1.これまでは目当ての本を見つけにその本のありそうなところへ直行するのですが、「魅力ある棚づくり」で通路を歩いてふとそこで本(目当て以外の本)を手にしたくなるような取り組みはぜひ継続していただきたいです。利用者や市民全般のニーズをよく調査されるとともに、利用実態などを反映され、いろいろと試みてほしいと願います。 2.閲覧したくても混雑して(混雑しているような雰囲気)で利用しづらいというのは工夫改善願いたいです。</p>	<p>1. いただいた意見を参考に今後もサービスを継続してまいります。 2. 令和二年度にしましては、自習目的の方の来館がないため、9月の椅子増設以降は落ち着いた状況です。自習に関する要望は多く寄せられている反面、コロナ以前の「高校生の座席の占拠」に対する苦情の声も市民アンケートにあり、コロナ収束後の課題です</p>
	<p>・定量的指標では、他区と比較し、人口から見てサービス指標が大きい点を評価する。 ・これまで図書館における自習席には様々な意見があると思うが、新型コロナにより生活様式が変わって、利用者の居場所やリモートワークが増えている状況等も考えると、資料の利用だけではなく、図書館が提供する施設・設備の利用という点で、自習席は利用者が今必要としているサービスであると感じる。コロナ禍で長期滞在やモノの共有を考えると難しい側面もあるが、何等かの検討が必要と感じる。</p>	<p>本来、東図書館も自習席を設けていませんが、席数が多いため一部の席をのぞいて制限していませんでした。現在は、混雑や長期滞在を避け、閲覧希望の方の席を確保するには、自習を断らざるを得ない状況です。 感染状況や様々な利用者の要望を考慮したうえで今後も検討していく必要があると考えています。</p>
東区	<p>・魅力ある棚作りということでビジネス、ティーンズ、地域資料コーナーなどを設置されたこと結構なことですが、その効果については如何だったのか。 ・幼児向けのお話室や対面朗読室に窓がなく換気が悪いというのは驚きましたが、これは図書館においてこの部屋には窓を設けないという意図的设计なのか、あるいはたまたま窓がなくなったということなのか。 ・図書館における換気はお話室や対面朗読室に限らず、今後図書館設計において注意されるべき問題だと感じました。 ・対面朗読用のパソコンが設置されるということですが、もちろん視覚障害の方最優先ですが、空いているときは一般でも利用可能でしょうか。朗読を聞くことは読む力にもなり、時には読む以上に、言葉の味わいや、情景を想像する力を強めるからです。</p>	<p>・効果にしましては「取組」に追記しました ・おはなし室は子どもが集中してよみかせやおはなしを楽しめるよう、防音や照明を考慮して設計されています。対面朗読室はカウンターバックに二室あり、2・3人で使用することを想定した小さな部屋です。いずれも窓が必ずしも必要な部屋ではなく、平成17年建設時の空調・換気も安全性を満たしたのですが、今回のコロナ禍では窓を開けた換気が推奨されていたため、異なる場所でのサービス提供を考えました。 ・対面朗読用のパソコンは、利用者が朗読者と向かい合ってサービスを受ける状況避けるため、隣り合った部屋でリモートで対話できるテレビ電話的な使用を目的とした仕様で納入される予定です。ご意見にあるように、視覚障害のない利用者が「朗読を聞く」用途として流用するのは難しいですが、有効に利用できるよう検討していきたいと思っております。なお、どなたでも利用できるよう、朗読CD等の収集や貸出は行っております。</p>
	<p>魅力ある棚づくりやブックフェアは、利用者にとっていいと思う。東図書館の特徴であるビジネス書コーナーで、新着資料一覧の公開は、そこに行けなくても情報を得ることができていいと思う。 ティーンズコーナーの拡張と、登美ヶ丘高校との連携がより深まっているようで、高校生たちもやりがいを持てるし、同じ世代の子どもたちも興味を持って見ることができていいと思う。 閲覧席の多い東図書館の工夫がよくわかった。 形式等を変更した行事等、色々と工夫されていていいと思った。(書庫で…、乳幼児のブックパック、お話会の場所等)</p>	<p>評価をありがとうございます。</p>
	<p>高校生を巻こんでのYAサービスは興味深いし、効果があると思う。ブックフェアもよいが、日常的な普通の書架の中でも、表紙見せを取り入れたり、図書館の棚全体の魅力的な棚づくりに取り組んでほしい。</p>	<p>評価をありがとうございます。ティーンズエリアは今年度「表紙見せ」を増やし、大きくレイアウト変更をいたしました。他の場所につきましても、ご意見を参考にして取り組んでまいります。</p>

	意見・質問などコメント	事務局より
	西区子育て・教育環境整備事業としての環境整備に期待しています。「まちの保健室」開催の時間帯を教えてください。今後も毎月テーマを設定して発信し、開催が定着されることを期待します。	「まちの保健室」は第3水曜日の午前10時30分から12時まで開催しています。2階フロアの改装後には、子育て支援課、包括支援センター、総合医療センターとの連携により、あらゆる年齢層に向けた健康相談事業の展開を進めていきます。
	1.公立図書館として「区民の学びや活動を支える」という視点はとても大切なことだと思います。学びや活動の実態と今後のニーズなどをよく調査され、新たな施設としても充実されることを望みます。 2.オンラインツールの活用は今後の拡充が期待されると思いますが、そうしたツールを使いこなせない、使おうとしない人との「差」をどう埋めていくのか、公立図書館でも課題になると思われます。	1.いただいた意見は今後の参考にさせていただきます。 2.Wi-Fi環境を整備する中で子どもや高齢者も含め、オンラインでの「哲学カフェ」や体験会等の機会を検討していきます。
	1.人口あたりの貸出やレファレンス件数が低いところがある。西区における認知度向上が今年度の目標とどのように絡んでいくのかを聞きたい。 2.西区子育て・教育環境整備事業として、書庫の蔵書や多目的会議室の読書環境の充実などが挙げられているが、新型コロナ対応で当初の予定から変更した点があるのか。または新型コロナに対応した点はどこかをお聞きたい。	1.今年度の目標で地域や専門機関と連携した資料収集や相談事業を行うとし、地域に出向いての情報提供を企画していましたが、地域活動の自粛もあり、連携イベントも含め情報発信の機会が縮小しました。オンライン講座や資料配布に形を変えて実施しました。今後は、プレオープン期間の市民による書庫移動や「みらい図書館カフェ」等を通し、区の情報発信も活用して認知度向上に努めます。 2.4階のキャレルデスクは当初15席を設置予定していましたが、配置を変更し10席に減少しました。2階のラーニングスペースも席数を減少してプレオープンしていきます。 今年度は「おはなし室」等の換気が困難なため、行事の開催を自粛せざるを得ませんでした。改装後はオープンスペース(広くて風通しの良い場所)で適切な人員(密を避けて)での開催が可能と考えています。
西区	1.コロナ流行下とはいえ、人口からみて貸出・予約点数などが低い、来年度の増改築による書庫増床、会議室やオープンスペースの活用、プレスクールゾーンなど新たな空間の創設が利用を広げることが期待される。なお会議室やオープンスペースの利用は無料でしょうか。公民館などは普通無料です。 2.キャプション評価は一見面白そうな試みですが、オンラインだけで利用上の問題点があるのだからかという気もします。実際の利用者の経験上の意見のほうがより有効ではないのでしょうか。	1.コロナの影響に加え、9月以降の改修工事にともなう駐車スペースの減少、集会施設の閉鎖、閲覧室の工事騒音等、利用環境の影響は大きいと考えています。取組状況にレファレンス点数に加えて、予約点数も追加しました。 会議室やオープンスペースの利用は無料です。運用については図書館関係団体か読書に関わる団体への貸出を予定しています。 2.今年度は対面でのキャプション評価ができない状況だったのでオンラインでの実施となりました。次年度は若年性認知症のご本人やご家族、障害者や高齢者、子育て層の方など、実際に集まって行う形でのキャプション評価を実施予定です。その場で利用者の経験に加えて、これまで利用し難かった方々のご意見もいただけるものと考えています。
	区民の学びや活動を支える資料や場の提供を充実させることができるのは、今の場所を生かすことができる、という点で今後が楽しみ。教育環境整備事業の充実、新しく増える施設で可能となったことは、うれしい。それが、図書館の利用に大いに役立ってほしい、とも思う。 また、専門機関、専門家との連携も、市民の身近な健康への情報が多くなることはいい。聞きなれないが、だれでも快適に過ごせる空間づくりに役に立つ「キャプション評価」は、なかなか面白い試みで、これからも時々色んなところで試してみてもいいと思う。コロナでの影響の報告…子どもの本の利用の仕方…増える層と減ったところ等よくわかった。 看護師、保健師のおはなしだったら、聴きたいという人が多いと思います。「まちの保健室」いいと思います。	いただいた意見は今後の参考にさせていただきます。
	書庫増床、多目的会議室が活用できるようになったことは良かった。どんどん活用してほしい。目標2の専門機関と連携した、相談事業や、区民の身近な場での情報提供はドンドン進めてほしい。キャプション評価の試みは興味深い。	いただいた意見は今後の参考にさせていただきます。

	意見・質問などコメント	事務局より
	5/17～24の期間の予約資料貸出について、臨時窓口の他に駐車場にドライブスルー方式の窓口を設けられたことは画期的だと思います。	今後も施設の特性を活用した取組の検討をすすめていきます。
	1.感染拡大予防のガイドラインに沿ってさまざまな取り組みを早期に再開されたことを評価します。 2.多文化情報コーナーの充実を評価する一方で、それを利用している人はどの程度いるのか、また、そのコーナーを必要としている人に周知されているのかが気になります。区役所や市役所のそうした担当部局にある「資料コーナー」との差別化をはかり、図書館としての特色をもっと打ち出されてもよいように思えます。	・関係団体との調整・ご協力により、早期に取組を再開することができました。また、おはなし会については、関係団体と調整し、5月からは時間を20分に延長して実施する予定です。 ・今後、外国人市民の母国で出版されている日本での生活に役立つ資料などの収集をすすめ、あわせて周知を行っていききたいと考えています。
	今年度の目標では、「3.外国人市民が日常生活の中ですぐに役立つ資料を収集」とあるが、コロナ禍において外国人市民が母国語の情報を受け取る機会が難しいと感じる。図書館では外国人市民と情報を結びつける役割を担っていただきたい。	今後、外国人市民の母国で出版されている、日本の生活に役立つ資料などの収集をすすめ、あわせて周知を行っていききたいと考えています。
南区	・感染症流行下で対策を講じたうえで、お話し会や展示・講演会など積極的に現場経験を作ろうとされているように見えます。 ・しかし、やはりここでも集会室、学習・読書席、対面朗読室、お話し会の場など換気の問題で縮小を余儀なくされている点、他館と共通した問題があります。 ・ドライブスルーは他にない試みで、将来の図書館を考えていくうえで参考になるものと思います。	・関係団体との調整・ご協力により、早期に取組を再開することができました。また、おはなし会については、関係団体と調整し、5月からは時間を20分に延長して実施する予定です。 ・今後、外国人市民の母国で出版されている日本での生活に役立つ資料などの収集をすすめ、あわせて周知を行っていききたいと考えています。 ・今後も施設の特性を活用した取組の検討をすすめていきます。
	取組結果の2 これからの在り方だが、横文字が多くてわかりにくい、いい提案なら考えていったらいいと思う。ただ、ICTにすべての人がのることができない、ということも念頭に入れておいてほしい。コロナの時期(だったからこそ)図書館施設を色々な工夫で、いかに利用者が安心して使えるか、工夫が色々わかった。	利用者からの要望もお聞きしながら、利便性を高める工夫を行っていききたいと考えています。
	これから益々在住外国人が増えるであろうと思われるので、多文化資料情報コーナーの充実に励んでほしい。コロナが落ち着いたなら在住外国人とコラボしたイベントの実施等も検討してほしい。 南図書館ホールは、コロナ禍による電話での仮受付、中止となったホール利用料の返金などの対応をしたとあったが、周知は不徹底で、コロナに寄らずとも、電話での仮受付、中止の場合の返金等、普段でも柔軟に対応すべきだと思う。	多文化情報コーナーについて、今後、外国人市民の母国で出版されている、日本の生活に役立つ資料などの収集をすすめ、あわせて周知を行っていききたいと考えています。 また、ホールについても、利用者からの要望もお聞きしながら、利便性を高める工夫を行っていききたいと考えています。

	意見・質問などコメント	事務局より
	リモート形式により、ボランティアステップアップ講座を実施されたことは、新たな取組みとしてこれからの時代にとっても有効だと思います。浸透していくよう定期的に開催すればいいと思います。	初めての取組みでしたが、いつでも好きな時間に講座を視聴できてよかったという意見が、受講者アンケートでも多く寄せられました。
	1.子育て世代が多い、親子での来館が多い一方で、成人の利用者も多く、いろんな世代のニーズに工夫して対応されていることを評価します。 2.「ミニブックフェア」も随時開催することで、多くのジャンルの本を引き続き幅広い層に紹介していただくことを望みます。	評価していただき、ありがとうございます。今後も、利用者の皆様に、様々なジャンルの本を紹介していきたいと思います。
	リモート形式によるボランティアステップアップ講座の実施。 新たな取組みを評価。	評価していただき、ありがとうございます。
北区	・資料1の「取組結果」のリモート形式によるボランティアステップアップ講座は、この時間帯にしか視聴(受講)できないのか。 ・2ページの「新型コロナウイルス影響の各館の状況」のところで、「7日間で事前に貸出した予約資料6,015点」とあるが、どういう意味か。「7日間で事前に予約した貸出資料6,015点」の方がよいのではないか。	・時間帯は、24時間いつでも視聴できます。公開期間は12月2日から25日まででした。 ・受取日の前日に、事前に貸出手続きした予約資料を渡したという意味です。
	・ここも感染症の影響はあるにせよ、人口に比べ、貸出・予約・レファレンスはやや数値が低くみえます。ただし臨時休館中の予約件数が群を抜いているのは何か理由があるのでしょうか。 ・やはりここも他館と同様、対面読書室の不利用、予約資料の置き場や返却資料の置き場に苦労していて図書館構造上の問題が絡んでいるようです。	・区民の人口は、北区が最も多いです。北区には図書館が1館しかないため、堺市駅前分館や中央図書館の方が距離的に近い人もいます。利用者が、必ずしも在住の区の図書館を利用しているとは限りません。区の人口と利用する図書館との関係は様々な要因が加味され、さらなる分析が必要だと考えます。臨時休館中の予約件数が多いのは、通常でも北図書館の貸出・予約の数が多く、休館日が続き本の動きも完全にストップしたことで、さらに予約本が増加したことが原因だと推測されます。一方で、窓口がいつも混み合うため、調べてもらおうという雰囲気にならないため、レファレンスの数字が上がらないと考えられます。窓口の多忙さに比べ職員数が少ないため、利用者への対応が不十分な点は、今後の課題です。 ・比較的コンパクトな図書館のため、スペースに限りがあります。返却ポストの本の量も多いため、工夫しながら仮置きする必要があります。
	ステップアップ講座をリモート形式とするのは、これからのやり方としてよかったともう。コロナで閉館の時期の予約本の山…、また、終わってからも1日取り置いておくというのは、貸し出し数の多い北図書館では、さぞ大変(他館でも)だったと思う。そういった時でも、これからは貸出だけでもできるようにしてくれたらいいと思う。	・リモートでの講座は、イベント中止になる心配がなく、有効でした。 ・大量の予約本があったままで、いきなり開館では大混乱になるところでした。予約本のみを受け渡しができたことは、とても良かったです。
	ICT活用は結構ですが、図書館にリアルに足を運んでもらうことも大事だ。特に子どもにとってはリアルな体験は大事。コロナ後も見据えて、子育て世代に支持される図書館サービスを追求してほしい。	図書館に直接来ていただくことは、大切だと思います。安心・安全に利用できるような対策をしつつ図書館サービスに取り組んでいきます。

	意見・質問などコメント	意見・質問に対して(事務局の対応)
美原区	<p>中高年層の利用者の割合が高いという観点でいうと、館内施設の消毒等の実施も大事ですが、非来館型サービスの拡充に重点に置く方が、相対的に利用者の数が増加すると思います。</p>	<p>アンケート結果などみると、電子書籍の利用が中高年層利用者には低調のようであり、中央図書館とも連携をとり、活用法など中高年層にわかりやすく解説などして、非来館型サービスの拡充を検討していきたいと思います。</p>
	<p>1.中高年利用者の取り込みに向けて対策を立てておられることを評価します。端末を検索するのではなく、書庫本の活用をして実際に手にしてみることができる機会を増やすといった配慮もよいと思います。など一般的に、子ども向けのもの → それに同行する親や祖父母の取り込みといったパターンが多い中、直接中高年にはたらきかける点で今後の変化を期待します。 2.高校生へのはたらきかけを以前からされていますが、「非来館型」で高校生の図書館利用を増やせないかの検討もお願いしたいところです。</p>	<p>1府立図書館などで実施されている書庫見学会的なものの実施につき検討していきたいと思います。書庫にある書籍で、祖父母と孫とのコミュニケーションが深まるような機会が提供できればと考えています。 2中高校生はパソコン、インターネットに精通している者も多く、web上で「非来館型の図書館サービス」を更に展開し、図書館利用を増やしていきたいと思います。</p>
	<p>「取組結果」の「貸出者数・貸出点数の比較」や「新型コロナウイルス影響の各館の状況」では、「貸出者数・貸出点数の前年比較」で具体的な数値が示されており、数値的のどのような影響があったのかを把握するのにわかりやすかった。</p>	<p>今後も、各種統計数値の把握に努め、数値に現れた状況、原因等を分析し、しっかりと図書館運営に反映したいと考えます。</p>
	<p>・感染症影響下で利用者の減少がみられるが、それでも人口に比べ図書館利用度が最も高い地域である。 ・中心利用者である中高年層を意識した蔵書や配架を試み、書庫内図書や端末検索できない人のためのブックフェアは親切な心配りが感じられる。 ・リサイクルフェア—は本の持ちよりですか、図書館廃棄本も含んでいるのですか。 (番外)・インターネットによる情報入手、本を手にとり読むことの低下、出版社や書店の閉鎖・倒産など、本を取り巻く状況は本当に厳しく、本というモノを手にとって読める場としての図書館は一層重要です。読書経験は内容を読むということだけではなく、その本の持つ手触り感、ずっしりとした重さ、本の形や装丁と一体のものとして経験されます。図書館がそういう本というモノの経験の減少に手を貸すことのないように願っています。</p>	<p>・当館の前身である美原町立図書館は地元住民の強い要望で作られた図書館であり、その原動力となった方々の多くが、高齢者世代になりつつあります。そのような利用者にも敬意をこめた図書館運営を今後も続けていきたいと思います。 ・「リサイクルフェア」に供出する書籍は美原図書館及び他の堺市立図書館へ寄贈された書籍のうち、受け入れられなかった書籍です。図書館廃棄本は含まれていません。</p>
	<p>減少した中高年層の利用者に向けての蔵書構成と配架の工夫はいいと思う。見やすい棚もいいですね。 ブックフェアに書庫の本を利用するのは、日ごろ目に触れていない本との出会いがあって、いいと思う。追悼フェアも最近目にするのが少なくなって、そういうときこそタイムリーで、書庫の本を紹介することもできていいと思う。 非来館型サービスで、ティーンズpopふえすていばるも盛況で、若い人はWEB上でも(かえっていいのか…)多数の参加があり、そういった試みは今回のこの機会が出来てよかった。 児童サービスの美原地域の情報発信もまたHPで見えます。</p>	<p>譲渡された楽譜棚に収納した大型活字本、また大型活字本を移動させた後の時代小説の文庫本は中高年利用者に人気が高く、棚が見やすくなったことから以前に比べ利用が増えました。ブックフェアにおける書庫本の活用は、状態の良い本が多数書庫にあり、まさに宝の持ち腐れでした。今後もこうした発想、工夫による図書館運営を図っていく所存です。  令和2年度の『ティーンズpopふえすていばる』の作品応募数はこれまで開催した4回のうちで最多になりました。これに満足することなく、webの活用等によりさらに盛り上げていきたいと思います。なお、当館では、2月からSDGsコーナーを設け、児童を向けのSDGs関連本を提示し、児童のSDGsへの理解を深める取組を展開しています。こちらの方も是非ご覧ください。</p>
	<p>中高年層の利用の落ち込みは全国的な傾向の前触লেরな表れ現象かもしれない。現状把握、利用分析、利用者ニーズの把握、経過観察等、利用者の声をしっかり聞いて対策を講じ、結果を分析をしつつ試行錯誤しながら、発信を続けてほしい。</p>	<p>頂いたご意見を踏まえ、これまで以上に利用者のニーズ分析、利用者の要望等に耳を傾け、利用者の増加につながるような取り組みに挑戦していきたいと思います。</p>